

このスポット・おすすめ!

地元産の野菜がゴロゴロたっぷり 眺めも雰囲気も大ごちそう やんばるロハスカフェ



「店内だけではなく、敷地内のおちこちにオープン席があり、食事やドリンクといっしょに景色と雰囲気を楽しむながら、のんびり過ごせます。ぜひおいしいごはんを食べに来て下さい」とお2人は笑顔でPR。6月から採れたフルーツを使った、特製スムージーを販売予定です。

メニューは日替わりランチ中心。夏は特製スムージーを販売。ヒルギ林やカヌー体験など有名な、東村の慶佐次川。このきれいな海を見下ろす緑豊かな丘上に、馬のふれあいや宿泊ができてプライベートビーチを備えた、静かなリゾート施設「やんばるロハス」があります。ここでは中面でご紹介した外間晃さんが、20年ほど前に購入した別荘です。週末のたびに那覇から通い、遊びの要素をコッコツとつくり上げ、昨年8月にはカフェをオープンしました。

「料理にはやんばる地域で採れた新鮮オーガニック野菜を使用しています。のびのびと元気に育った、素材本来の味を楽しんでもらえたら」と案内してくれました。カフェスタッフの中村なつ実さんと坂口愛美さん。メニューはランチが中心で、日替わりでオムライスやカレー、ナポリタンを提供。ライスは羽釜で炊いた健康米、卵は敷地内で飼育する鶏が産んだ朝採れ卵を使うなど、どの料理も体にやさしくヘルシーに仕立てられています。

住所 / 東村慶佐次167-2
電話 / 0980-43-2884
営業 / 10:00~16:00
休み / 月曜日(他、臨時休業あり)
駐車 / あり
http://yanbaru-lohas.com
(おもなメニュー)
*おまかせランチ.....1,000円
(野菜小鉢、フリードリンク付き)
*日替わりおやつ.....200円
(ドリンクとセットでの注文時は40円割引)
*コーヒー.....500円
(ホット、アイス)
*やんばるブレンド TEA.....400円
*ICE豆乳オーレ.....550円



Fresh ワインズ

人と人とのつながりを大切に...池原建設が大切なお客様にお送りする手作り広報誌

2017年
6月号
Vol.153
TOKYO 2020



読者プレゼント

『やんばるロハスカフェ』で使える
おまかせランチペアお食事券 + 3名様

Q: なぞなぞ
ボールはボールでも、四角いボールってどんなボール?

5月号当選者 前号の答え(自動ドア)
★比嘉拓海さん(読谷村在住)
★與儀義一さん(読谷村在住)
★中山武子さん(読谷村在住)

ワイワイ広場

読者プレゼント応募方法

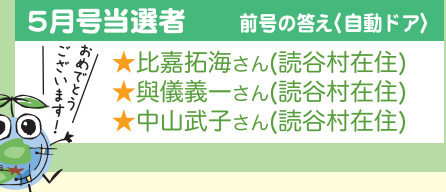
宛先 読谷村字伊良皆237-1 ワインズ『広報誌係』

裏 ⑦ご意見 感想

応募者の中から抽選で、読者プレゼントを進呈致します。どしどしご応募下さい!

締め切り 2017年6月20日消印有効
「当選者は次号(Vol.154)にて発表致します」

『Freshウインズ』は、建築でお手伝いをさせて頂いた施主様をはじめ、地域にお住まいの方など、ご縁をいただいた皆様に配布しております。諸事情により配布不要となった際は大変お手数ですが、その旨ご連絡下さい。(ウインズ広報誌係)



0120-229-512 ウインズ 池原建設 検索

住宅のメンテナンスや補修等のご相談は、お気軽にスタッフへお声掛け下さい!

今月の歳時記

- 6月11日(日) 第11回 北谷ニライハーリー
会場・開催地/北谷町フィッシャーリーナ整備用地
- 6月18日(日) 読谷村ハーリー大会
会場・開催地/読谷村・宇座海岸
- 6月18日(日) エイサーナイト2017 エイサーのまち宣言10周年記念イベント
会場・開催地/沖縄市野外ステージ
- 6月24日(土) 縄からうた開き!うたの日コンサート2017in嘉手納
会場・開催地/嘉手納町・兼久海浜公園

梅雨入り後も比較的涼しい日が続く今年の沖縄。県内各地で開かれていたハーリーも終盤を迎え、やがてあちこちから聞こえてくるエイサーの音色が、夏の訪れを感じさせます。

昨年の梅雨明けは6月16日ごろ、平年は6月23日ごろです。



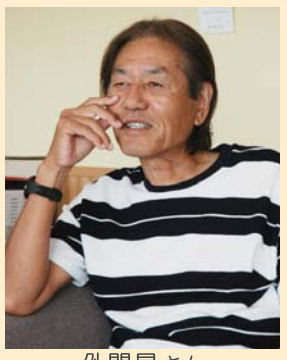
ストリートストーリー

Street Story!

アジアNo.1から世界一の座を目指し、リゾート地・沖縄の魅力を発信 建築デザインの第一人者・外間晃さんが著書『おきりぞ』を出版



「沖縄リゾート」を略して「おきりぞ」。外間さんは、自然・治安・公衆衛生・住民のオープンマインドなど13の指標をチェックし、沖縄が「アジアNo.1の高級リゾート地」と結論



外間晃さん

今年5月に『なぜ、世界のお金持ちは、こっそり「おきりぞ」を楽しむのか?』（東邦出版）を著し、作家デビューを果たした外間晃さん。建築の仕事や会社経営の経験を通じて「沖縄は世界に誇れるリゾート地」との確信を抱くに至った経緯をはじめ、執筆時のエピソードや、沖縄の将来に懸ける熱い思いをたっぷりと聞きました。

他の候補者を推薦するつもりが まずは自分が 執筆することに

外間晃さんといえば、沖縄の建築デザイン界をけん引してきた第一人者です。1979年に株式会社アレックス（那覇市泊）を設立し、県内のホテルや商業施設、文化施



東村慶佐次にある外間さんの別荘「やんばる口ハス」。一般客も気軽に訪問・見学できます。裏面ではカフェをご紹介します。

評判とともに広がる 共感の輪 6月3日には トークショーを開催

外間さんは今回の出版について、「会社経営者として、まさに時を得たものでした」としみじみと振り返ります。「執筆を引き受けたのは、ちょうど事業承継の準備に取りかかった頃。本の中では会社の業績や個人的な仕事の話にはほとんど触れていませんが、それでも書きまとめた内容はすべて、経営や仕事を通じて考えたこと、気付かされたこと、感じ取ったことばかりです。おかげで創業時からの記録と記憶を整理するのに役立つ、いい形で後継にバトンタッチできました」。

「おきりぞ」が晴れて書店に並んだのは今年5月3日。発売直後から好評を博し、「予想以上の反響の大きさに、私自身が一番驚いています」。毎日のようにたくさんのメールや連絡が届き、特に県内在住の読者からは、「勇気をもらった」「自信がついた」「ありがと」といった感想が多いとのこと。これについて外間さんは、「共感の輪が広がっていることを実感します。私たちウチナンチュは、人一倍熱いハートを持っていても、それを表現するのが苦手な人が多い。『おきりぞ』は、そうしたウチナンチュの思いを代弁し、自分たちの故郷を受け継いできた歴史や文化をもっと自信を持って誇っていいんだよ」と背中を押す役割を果たしているのかもしれないと捉え、「『おきりぞ』という言葉を浸透させたい。リゾート地としての沖縄の価値をもっともっとたくさんの人に伝えていきたいですね」と意欲をにじませています。

沖縄は観光地ではなく
リゾート地
国内・海外を巡って
確信を深める



執筆時は海外のリゾート地を歴訪。写真はオーストラリア訪問時の一コマ。海外に多くの友人がいる人脈の広さも外間さんの財産です

本のテーマは企画のスタート段階から、「おきりぞ」は「沖縄は世界に誇れるリゾート地」であることを県内外に広く発信する内容に決定しました。本の中でも繰り返し述べられていますが、「沖縄は観光地ではなくリゾート地。観光地は一度訪れれば十分だけど、リゾート地は何度でも訪問して滞在したくなる場所」と定義されています。それは外間さんが幼い頃から夢見てきた理想の沖縄の姿であり、約40年にわたるキャリアを通じて確信を深めた「沖縄は名実ともにアジアナンバーワンのリゾート地になる」という実感でもありました。そしてこの事実が、「本土の人たちもそうですが、特に、沖縄の人たちに知ってもらいたいとても重要なこと」とも述べています。

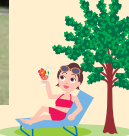


数あるリゾート施設の中でも特に外間さんの印象に残ったという、インドネシア・バリ島の「ザ・リッツ・カールトン・バリ」

「おきりぞ」は自費出版ではなく、出版社が発刊した商業出版物です。端的にいえば、出版社が「本に著す価値がある」と見込んだからこそ、外間さんに執筆を勧め、実現した企画です。目次を開けば、その密度の濃さは一目瞭然。「おきりぞ」という一つのテーマを語るために、沖縄の日常から歴史、文化、自然、観光の最新情報まで、さまざまなジャンルの知見が網羅されています。それは常に仕事の第一線で各分野のスペシャリストと渡り合ってきた、長年の経験のたまものであり、担当編集者も引き出しの多さには驚いたことでしょう。



ジュンク堂書店那覇店（那覇市牧志）の特設コーナー。全国の一般書店で購入できます



設の設計・施工に数多く従事。昨年7月に社長を退き会長に就任してからも、沖縄経済同友会の常任理事を務めるなど、沖縄経済の発展に資する活動に精力的に取り組んでいます。一方でプライベートでは、20年ほど前に東村で、乗馬ができてゲストルームも備えた別荘「やんばる口ハス」（ウラ面で紹介）を開設。公私ともにアグレッシブな人生を歩んできました。しかし今回の出版は、必ずしも率先して取りかかったわけではありません。意外にも当初は、「本を書くなんてまったくのお門違い。全然その気はなかったんですよ」。執筆に至った経緯を詳しく尋ねると、「会社のお客様に出版プロデューサーの方がいて、あるとき、彼が手がけた著者の集まりに招かれたんです。そこで皆さんから口々に言われたのは、本を出す人と人生が変わる。経営者なら、どんなプロモーションを打つより本を書くべき」ということでした。でも、そのときはまだ他人事で、「沖縄には本を出すに足る友人知人がたくさんいるから、彼らを推薦しよう」と考えていました。ところが、いざ誰かを紹介しようとする、ことごとく断られてしまつて。